

平成24年度事業計画

(公財) 北海道在京学生後援会

当財団は、建寮の精神を基に、引き続き「北海寮」を運営し、可能な限り安価な費用により快適な生活環境を提供するとともに、新しい時代を築く人材の育成等育英援護を行うために次の事業を行う。

1. 北海寮の管理運営に関する事業（第1号事業関係）

- (1) 練馬区石神井台所在の北海寮（定員72名）を寮管理規定に基づき適正・健全に管理運営する。また、在寮生の自治管理を尊重するとともに、寮務委員会との緊密な連携を保持し、あわせて的確な指導・助言を行う。
- (2) 基本財産を適正に管理するとともに、適切な財務運営を図る。
- (3) 北海寮の長期補修計画に関し、「将来計画検討委員会」を設置し、検討結果を踏まえ、本年度所要の修理に対応する
- (4) 平成25年度入寮生の募集告知・選考試験を例年通り時宜を得て行う。
- (5) 入寮式（平成24年4月8日）及び卒寮式（平成25年1月20日）を実施する。
- (6) 寮生が主催する「北海寮祭」（平成24年5月）の実施に協力する。
- (7) 在寮生の父母との懇談・個別面談及び懇親のための「父母会」（平成24年7月7日）を札幌で開催する。

2. 在寮生に対する指導育成に関する事業（第2号事業関係）

- (1) 「寮生の人格形成及び就職活動支援等検討委員会」の検討結果を踏まえ積極的に指導育成を行う。
- (2) 卒寮生等を講師に迎えて就職指導のためのセミナーを開催する。

3. その他目的を達成するために必要な事業（第3号事業関係）

- (1) 北海寮敷地の一部（375.80平方メートル）を引き続き貸与し、賃貸料収益をもって財務に資することとする。 《収益事業等会計》
- (2) 将来の大規模改修等を見据えた「将来計画資金」のための募金活動を、従来通り卒寮生に働きかけるとともに、「賛助会員規定」に基づく団体及び個人会員の獲得を図る。
- (3) 卒寮生で組織される「はまなす会」と一層の連携を深め、更なる支援・協力を仰ぐよう働きかける。
- (4) 平成11年に活動を開始した「はまなす親の会」との懇親会（平成24年7月7日）を札幌で開催する。
- (5) 北海寮の一層のプレゼンス向上を図るため、報道機関及び道内の高校等に必要な広報を行う。
- (6) 財団の発展と永続のために必要な委員会を設置し、検討を行う。